

ハーレム街の首領（ドン）（1973）

HELL UP IN HARLEM

メディア 映画

ジャンル アクション 犯罪

製作国 アメリカ

時間 95分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

殺し屋に襲われ重症を負った若き顔役が自分の父親に組織を任せる。回復した顔役は父親とともに組織を切り回すが独占欲を持ち出した父親と対立し、組織を離れる。幹部の一人が麻薬密売の元締めである地方検事と手を組み組織を裏切ったため抗争となり、父親は殺される。彼らのやり口に怒った元顔役はハーレム街に舞い戻り戦いを挑む。

ブラック・パワーが叫ばれた頃に製作されたL・コーエン監督の“BLACK CAESAR”（73年・日本未公開）の続編。報復に出た主人公が取る手段が待ち伏せ、不意打ち、遠くからライフルで狙う、といった割りと卑怯な手段である事以外はあまり特徴のない平凡なギャングもので、当時スターだったF・ウィリアムソンの人気に頼った作品であることがミエミエ。後のコーエン作品で見られる効果的なニューヨークのロケーションもこの頃はまだ精彩がない。

【クレジット】

監督	ラリー・コーエン	Larry Cohen
製作	ラリー・コーエン	Larry Cohen
脚本	ラリー・コーエン	Larry Cohen
撮影	フェントン・ハミルトン	Fenton Hamilton
音楽	フォンス・ミゼル フレディ・ペレン	
出演	フレッド・ウィリアムソン	Fred Williamson
	グロリア・ヘンドリー	Gloria Hendry
	トニー・キング	Tony King
	ジュリアス・W・ハリス	Julius W. Harris
	マーガレット・エイヴリー	Margaret Avery
	ダーヴィル・マーティン	D'Urville Martin